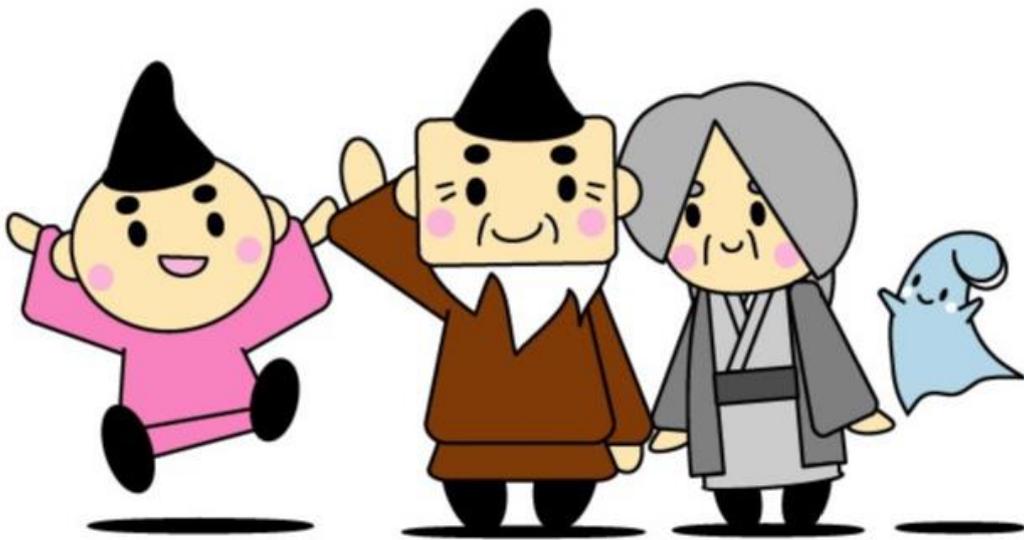


令和4年度茅ヶ崎市  
在宅高齢者実態調査  
報告書



令和5年3月  
茅ヶ崎市



## はじめに

本市の総人口は令和5年3月1日現在24万6,245人で、そのうち65歳以上の人口は6万5,638人となっており、総人口に占める割合(高齢化率)は、26.66%に達しております。また、今後も高齢化率は増加し令和7年には28.14%、令和12年には30.12%になるものと推計しております(令和2年国勢調査に基づく将来推計人口)。

このように、高齢化が急激に進む中、高齢者を取り巻く環境の変化に適切に対応し、高齢者の暮らしを支援していくため、在宅高齢者実態調査を実施しました。

本市では、平成8年度に開始され、平成12年度の2回目以降3年度ごとに行われています。本来であれば令和3年度に行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期となり、令和4年度に9回目の調査となりました。また、今回の調査は新型コロナウイルス感染症の影響により調査対象項目を縮小し、各地区担当の民生委員・児童委員が感染症対策を心掛けながらご自宅を一軒ごとに訪問し、調査票に基づく聴き取り調査を基本に実施しました。

とりまとめた調査結果につきましては、民生委員・児童委員、地域包括支援センターと共有し、日ごろの見守り・安否確認等に活用するとともに緊急時の対応等や今後の高齢者福祉施策の参考にしてまいります。

### 【調査の項目】※調査票参照(参考2)

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| ①氏名、住所、性別、年齢、電話番号 | ⑤世帯の状況               |
| ②現在の状況            | ⑥緊急時の連絡先(氏名、電話番号、続柄) |
| ③かかりつけの医療機関       | ⑦地域包括支援センターの利用状況     |
| ④介護認定の状況          | ⑧避難行動要支援者支援制度の認知状況   |

### 【調査対象】

20,363人(年齢計算日を令和4年6月15日としたうえで、令和4年5月1日時点で茅ヶ崎市住民基本台帳に記載のある方)

- ①75歳以上で前回(平成30年度)調査の対象でなかった方
- ②79歳以上の一人暮らしの方

### 【調査期間】

令和4年6月15日(水)から令和4年7月31日(日)

### 【調査方法】

民生委員・児童委員による聴き取り訪問調査等

### 【回収状況】

調査前対象者 人数合計	調査後対象者 人数合計	増加率※1	有効回答者数※2	有効回答率
20,363人	20,389人	0.1%(26人)増	18,032人	88.44%

※1 調査後対象者の人数が増加した理由は、各民生委員の判断により、今回調査対象でなかった高齢者に個別で調査を行っており、結果として0.1%(26人)増となりました。

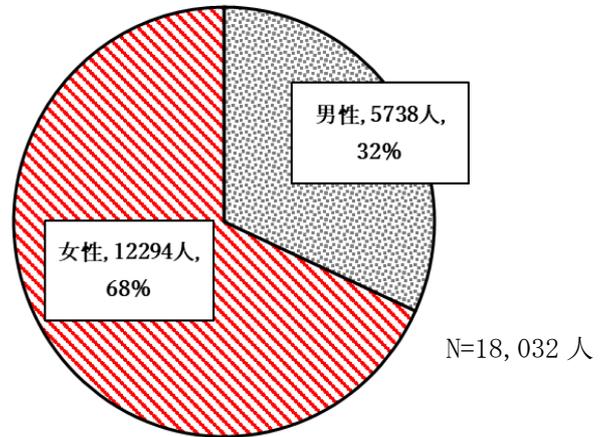
※2 調査拒否などの理由で調査が出来なかった人数を除いた回答者数となります。

● 以下のグラフの割合は、小数点第1の位を四捨五入した値となっています。

## ① 回答者の基本属性

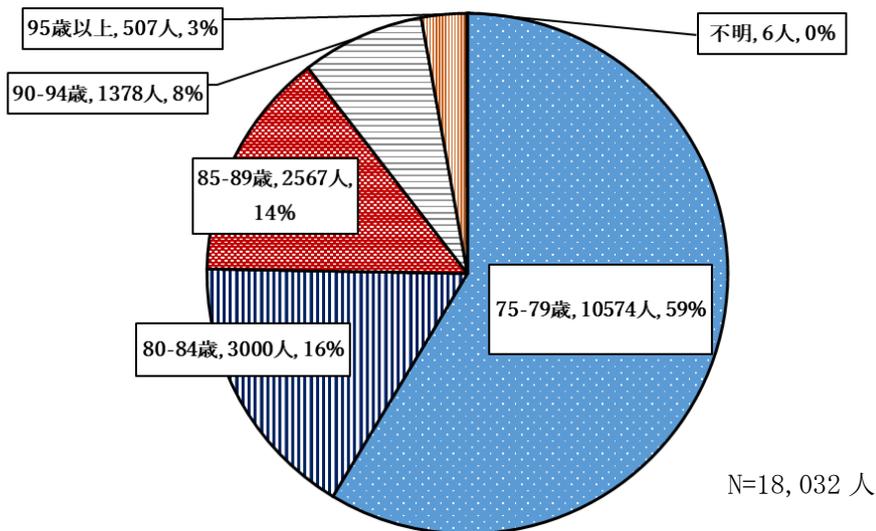
### (1) 性別

回答者の性別をみると、「男性」の割合が32%、「女性」の割合が68%となっています。なお、「男性」が 5,738 人「女性」12,294 人でした。



### (2) 年齢（5歳区分）

回答者の年齢別でみると、「75～79歳」の割合が59%と最も高く、次いで「80～84歳」が16%、「85～89歳」が14%、「90～94歳」が8%、「95歳以上」が3%となっています。

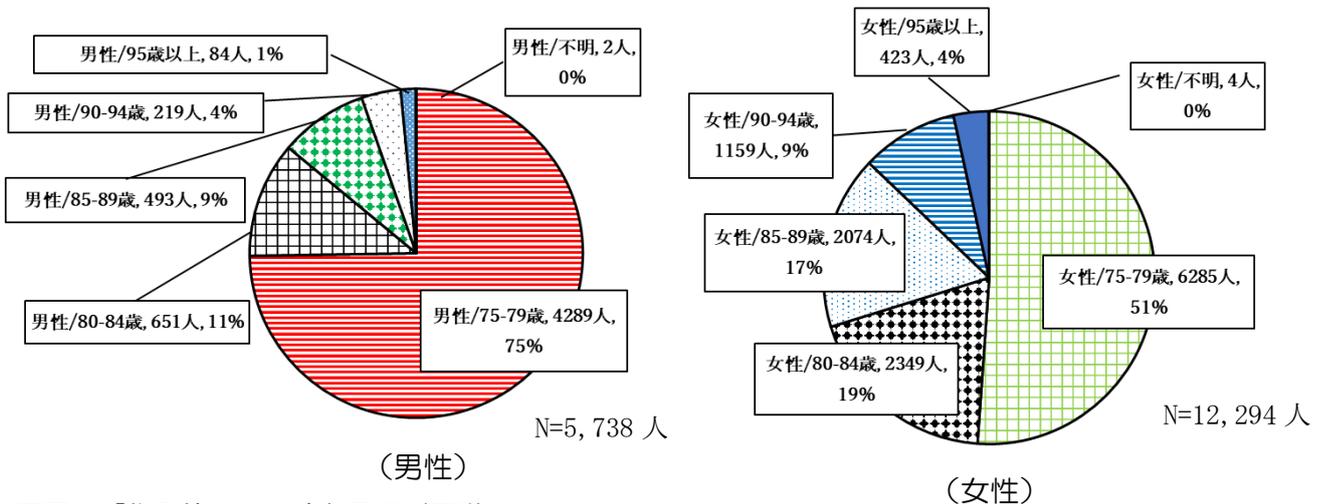


※不明は、「住登外」により生年月日が不詳のためです。

### (3) 性別（男性・女性）/年齢（5歳区分）

回答者の男性の年齢別で見ると、「75歳～79歳」の割合が75%と最も高く、次いで「80歳～84歳」の割合が11%、「85歳～89歳」が9%、「90歳～94歳」が4%、「95歳以上」が1%となっています。

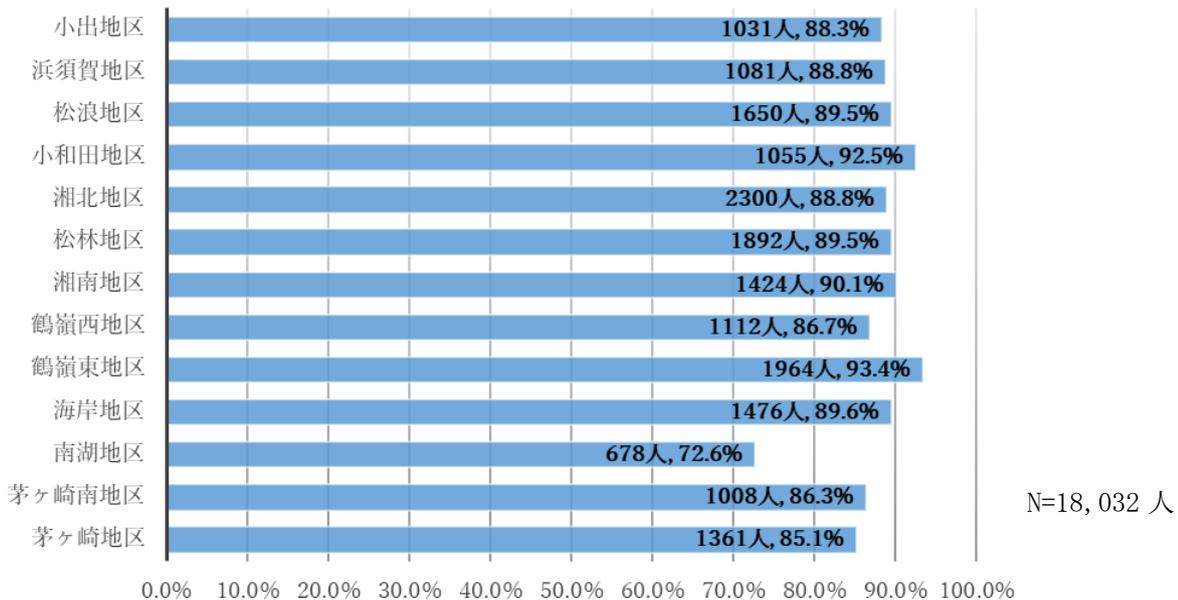
また、女性の年齢別で見ると、「75歳～79歳」の割合が51%と最も高く、次いで「80歳～84歳」の割合が19%、「85歳～89歳」が17%、「90歳～94歳」が9%、「95歳以上」が4%となっています。



※不明は、「住登外」により生年月日が不詳のためです。

### (4) 居住地区別の有効回答者数・有効回答率

居住地区別で有効回答者数・有効回答率みると、鶴嶺東地区が1,964人(93.4%)と最も高く、次いで小和田地区が1,055人(92.5%)となっています。全地区の平均の有効回答率は88.44%でした。なお、全地区の有効回答者数は18,032人でした。

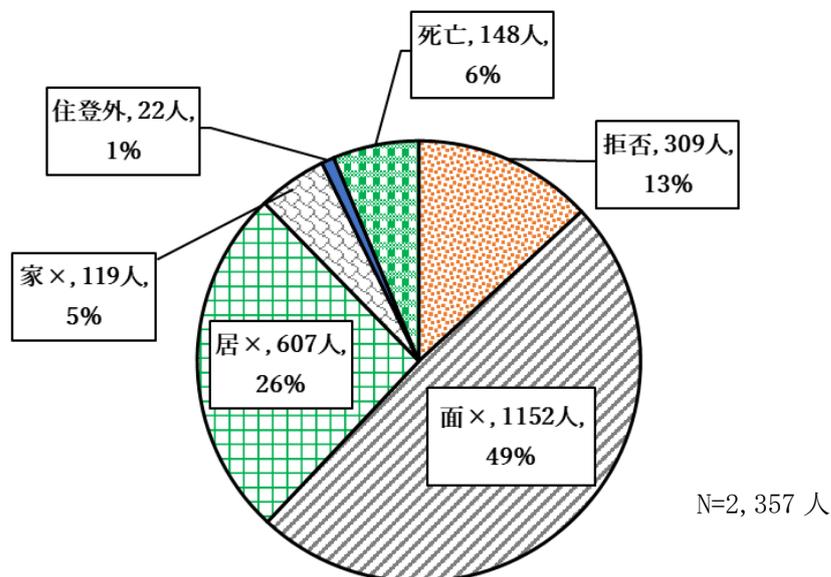


※有効回答者数・有効回答率には、調査拒否などの理由で調査が出来なかった人数は含まれていません。

※南湖地区については、調査対象となっているものの、特に「太陽の郷」に入所している方が多く、調査が出来ず、結果として有効回答率が下がってしまったためです。

## (5) 調査ができなかった理由

調査ができなかった理由は、「面×(面会できない)」が49%と最も高く、「居×(家はあるが居住していない)」が26%、「拒否」が13%、「死亡」が6%、「家×(家がなく居住していない)」が5%、「住登外」が1%でした。なお、合計2,357人調査が出来ませんでした。



調査が出来なかった場合の選択肢

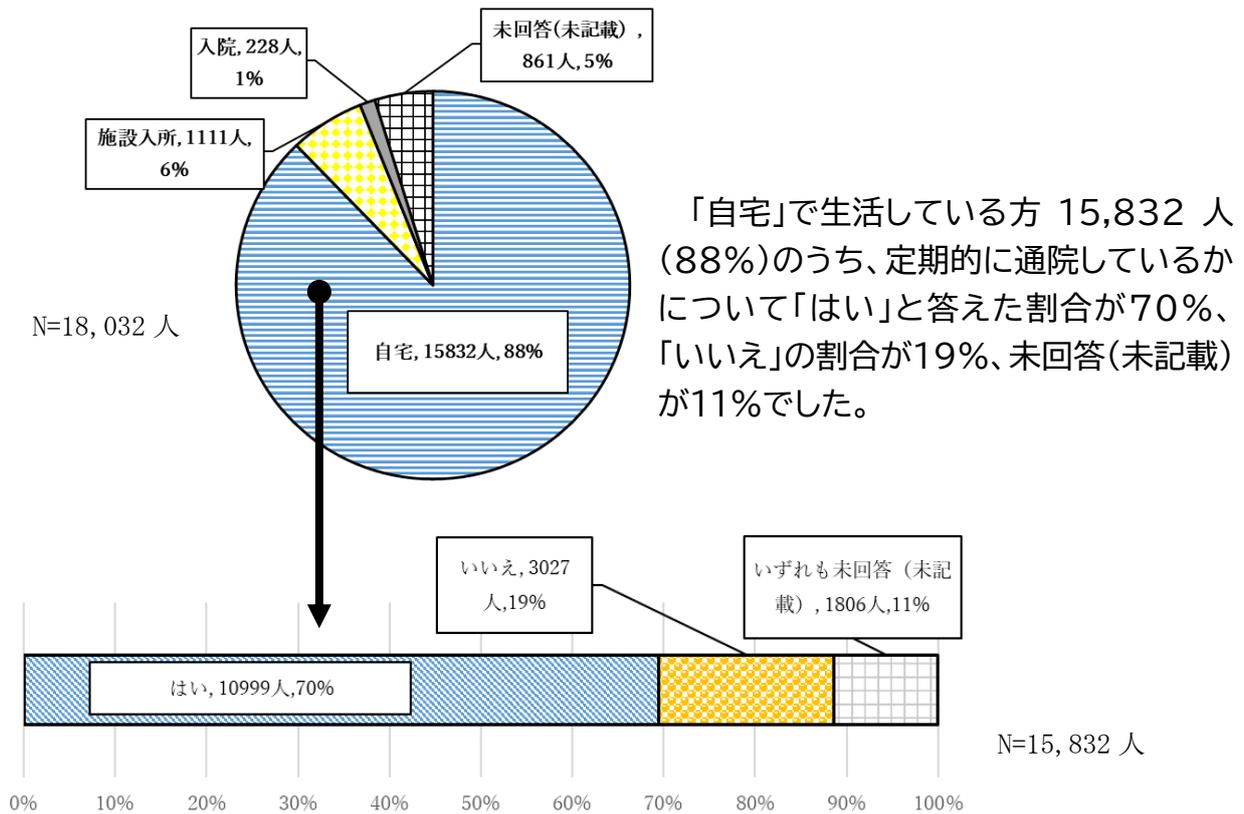
調査時の状況	記入方法
調査拒否された	拒 否
面会できない	面 ×
居住していない (家はある)	居 ×
居住していない (家がない)	家 ×
住民登録がないが居住している	住登外
死亡している	死 亡

## ②

## 本人について

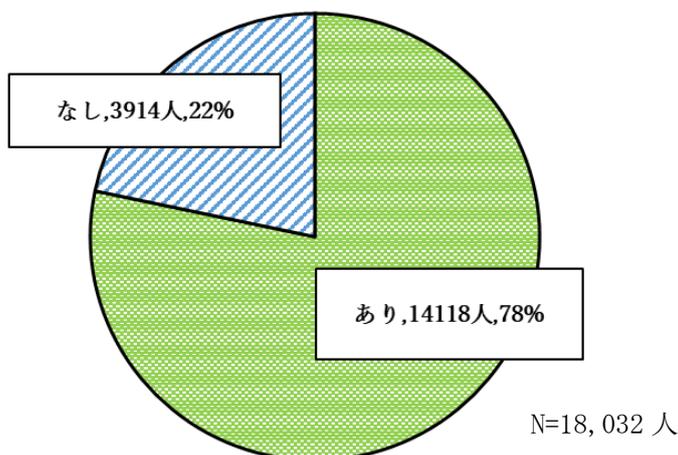
### (1) 現在の状況

現在の状況を見ると、「自宅」で生活の割合が88%と最も高くなっています。次に施設入所が6%、入院が1%となっています。また未回答(未記載)が5%でした。



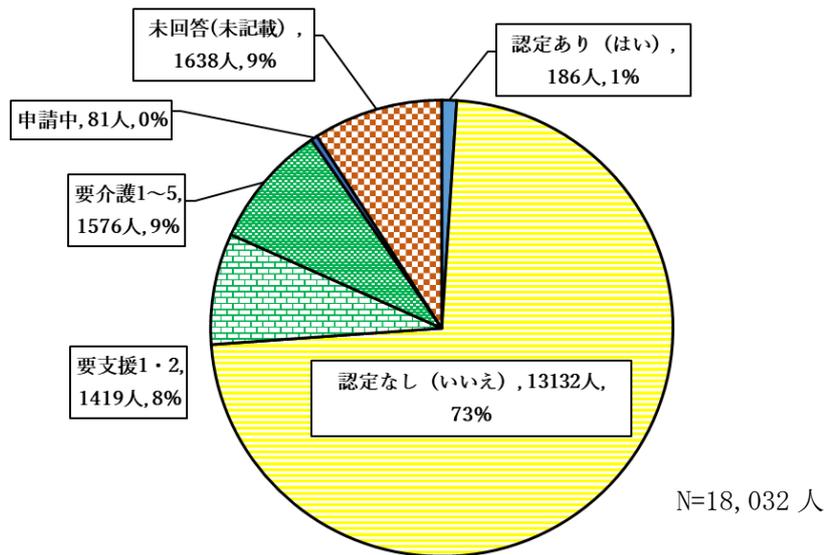
### (2) かかりつけの医療機関の有無

かかりつけの医療機関について、医療機関名を記載した方(「あり」)の割合が78%、医療機関名を記載していない(「なし」)と回答した方が22%となりました。



### (3) 介護認定の状況

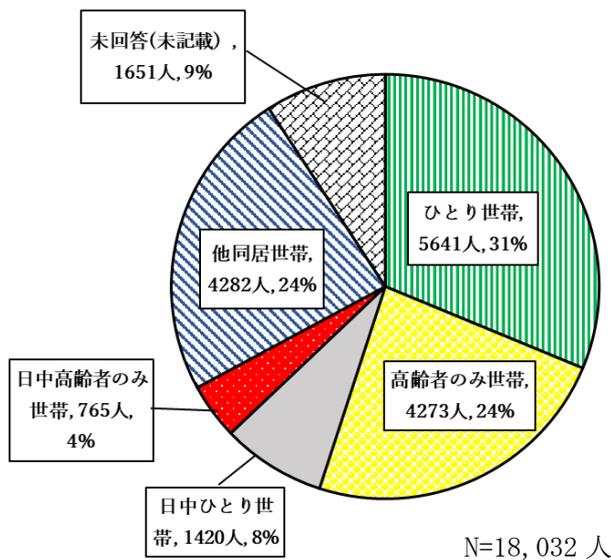
介護認定の状況を見ると、介護認定を受けている方のうち、「要支援認定 1～2」と答えた方の割合が8%、「要介護認定1～5」と答えた方の割合が9%、「認定なし(いいえ)」と答えた方の割合が73%となりました。なお、「認定あり(はい)(※認定はあるが認定区分が分からない)」と答えた方が1%の割合でした。



### ③ 世帯の状況

#### (1) 世帯類型

世帯の状況を見ると、「ひとり世帯」の割合が31%と最も高く、次いで「多同居世帯」及び、「高齢者のみ世帯」が24%となっています。

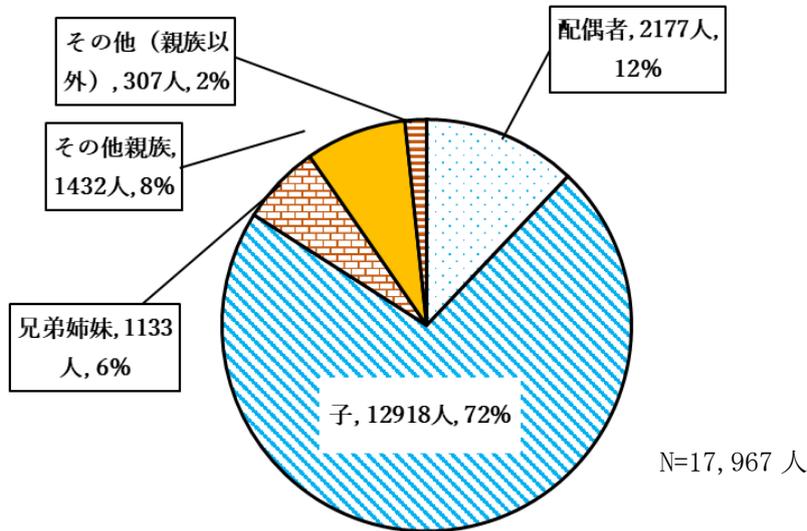


#### 世帯類型の定義

世帯類型	定義
ひとり世帯	生計と住居が独立しているひとり暮らしの75歳以上の高齢者の世帯
高齢者のみ世帯	生計と住居が独立している75歳以上の高齢者のみの2人以上の世帯
日中ひとり世帯	75歳未満の若年者の家族等と75歳以上の高齢者が同居している世帯で、家族が仕事等で、昼間は通常、高齢者が1人になってしまう世帯
日中高齢者のみ世帯	75歳未満の若年者の家族等と75歳以上の高齢者が2人以上同居している世帯で、家族が仕事等で、昼間は通常、高齢者だけになってしまう世帯
他同居世帯	75歳未満の若年者の家族等と75歳以上の高齢者が同居している世帯で、 <u>昼間も通常、高齢者が1人にならない世帯</u>

## (2) 緊急連絡先

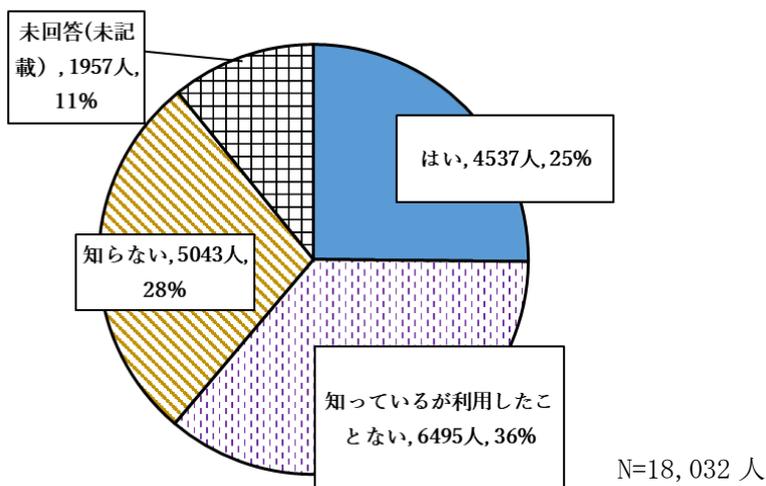
緊急連絡先をみると、息子・娘などの「子」の割合が72%と最も高く、次いで妻や夫の「配偶者」が12%、「兄弟姉妹」が6%、義理の息子やいとこなど「その他の親族」が8%、知人や隣人など「親族以外」が2%となりました。



※緊急連絡先は2人まで記載できるようになっており、調査票に記載された緊急連絡先の合計数が17,967人でした。

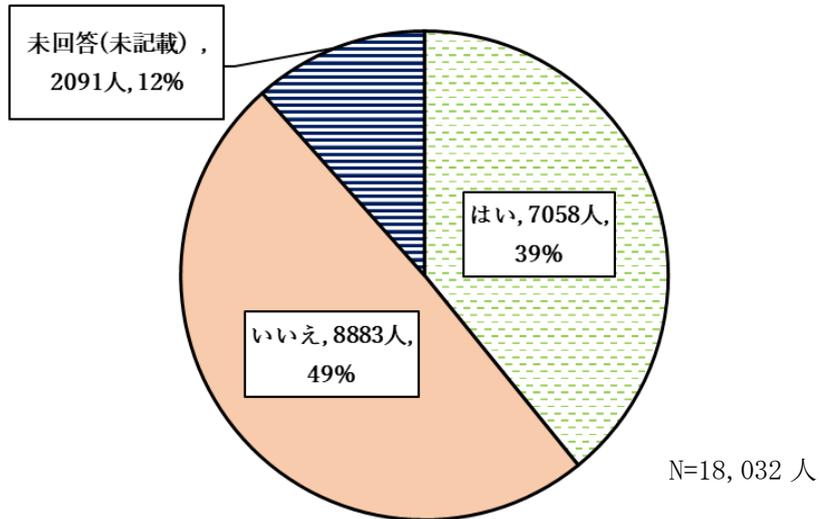
## ④ 地域包括支援センターの利用状況について

地域包括支援センター利用状況をみると、「(地域包括支援センターを)知っているが利用したことがない」が36%、「(地域包括支援センターを)知らない」が28%、「はい(利用したことがある)」が25%、「未回答(未記載)」が11%でした。



## ⑤ 避難行動要支援者支援制度の認知度について

避難行動要支援者支援制度の認知度をみると、「はい」の割合が39%、「いいえ」が49%、「未回答(未記載)」が12%でした。



令和4年度茅ヶ崎市在宅高齢者実態調査 報告書

令和5年（2023年）3月発行

■発行	茅ヶ崎市
■編集	福祉部高齢福祉介護課
〒253-8686	神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号
電話	0467-82-1111（代表）
FAX	0467-82-1435